



優秀賞

(居室部門)

タイトル

家族の和

タイプ

持家一戸建

講評

物置であった小屋裏が、柱を整理することなどにより魅力的な居間に生まれ変わっている。民家風の太い梁や縦格子の建具と、丸い小窓の開く白い仕切り壁とを対比させた緊張感のあるデザイン。照明の使い方がうまい。

リフォーム前後の写真



リフォーム前



④



②



③



①

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

今回、改修された部分は、1階店舗部分の吹き抜けとして使用されていたもので、お嬢さんを迎えるにあたり若夫婦の為に造った居住スペースである。

吹き抜けと同時に物置としても使用されていたので柱間が狭く居室としては不具合なので既存の登り梁に120×120を付梁とし柱を撤去した。

完成後は、若夫婦だけに使わせるのはもったいないと、ご両親も友人を誘われ、ホームパーティをされているそうである。この改修がきっかけとなり家族の和がますます深まったと話された

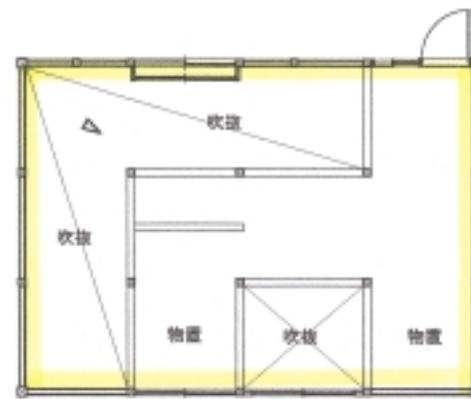
特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ ）

データ

所在地	岐阜県飛騨市	構造 / 築後年数	在来木造 / 30年
該当工事面積	41.41 m ²	該当部分工事費	380万円
居住者構成	4人 (大人 15歳以上)	人 子供	人) ペット
設計者	建築設計デザム	担当者	竹林 幸信
施工者	丸茂 (株)	担当者	斉藤 繁

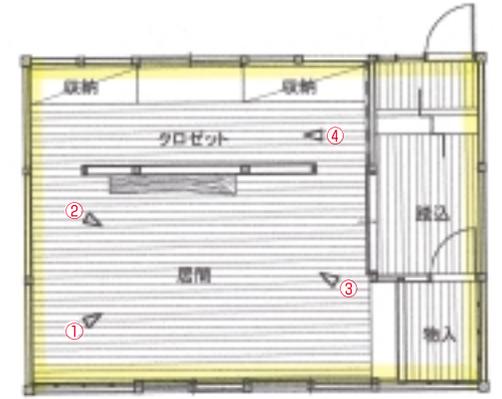
のが心に残っている。

リフォーム前



改修前平面図 S=1/100

リフォーム後



改修後平面図 S=1/100